



2025年11月7日

各 位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード：4563 東証グロース)

問合せ先 広報・IR グループ

<https://www.anges.co.jp/contact/>

連結子会社の米国における研究開発拠点新設に関するお知らせ

当社は、連結子会社である EmendoBio Inc. (以下、「EmendoBio 社」という) の研究開発拠点を米国カリフォルニア州に新たに設置し、研究開発の軸足をイスラエルから米国に移行することを決定しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

当社は、2024年1月29日の「連結子会社における事業再編成に関するお知らせ」において EmendoBio 社のイスラエルにおける研究開発子会社である Emendo Research and Development Ltd. (以下、「Emendo R&D」という) を、それまでの労働集約的な研究開発体制から、機械学習を活用した知識集約的な研究開発体制に移行し、研究開発体制の再編成を行うことを発表しました。

この決定に沿って、イスラエルにおける Emendo R&D の体制を縮小するとともに、米国における EmendoBio 社のゲノム編集技術の導出等を進める体制を強化してきましたが、この度、米国におけるゲノム編集技術の研究開発拠点を新設し、ゲノム編集技術の研究開発体制を Emendo R&D から順次移行することを決定しました。

米国に新設する研究開発拠点はカリフォルニア州パロアルト (Palo Alto) を予定しており、Emendo R&D に在籍の従業員 20 名 (2025 年 9 月末時点) のうち、一部の人員が米国の新しい拠点で継続して研究開発に当たるとともに、米国で新たに人員を採用する予定ですが、その規模、設備、体制などの詳細は今後決定してまいります。ゲノム編集技術の開発は、米国での研究開発が世界の最先端となっており、研究者も多数いることから、Emendo 社の研究開発も米国で実施することが今後の展開に有益であると判断いたしました。また、2025 年 1 月 15 日の「ゲノム編集による新規がん治療法の開発に関する米国スタンフォード大学との共同研究契約締結のお知らせ」にてお知らせしたスタンフォード大学と共同研究中のがんゲノム編集治療法の開発も、連携してより円滑に進められると考えています。

Emendo R&D の今後につきましては、新設する米国拠点の進捗に合わせ順次詳細を検討のうえ決定します。

当該決定に伴う各種費用等につきましては現在精査中ではありますが、米国での拠点新設並びに Emendo R&D からの移行にかかる費用は、施設賃貸・改装費、設備・機器費、NGS 関連費等で約 8 億円から 15 億円、初年度の人件費、その他 IT インフラ、規制対応、保守、安全対策、運営費、予備費等で約 9 億円から 14 億円と想定しており、このうちの初期段階に必要な最低限の費用は 10 億円から 15 億円と考えています。しかしながら、当面は拠点開設の準備期間にあたることから、2025 年度の業績予想について変更はありません。今後開示すべき事項が決定された場合には速やかにお知らせいたします。

以 上